

口小だより

第 26 号
口津小
之津長
校 長

二学期のスタート

八月二十九日、日曜日の早朝、おやじの
会主催で環境整備作業が行われました。

本校職員も含め、約四十人が、密になら
ないように分散し、校地内の除草や側溝の
砂上げ等に汗を流しました。

一時間あまりの作業でしたが、みるみる
うちにきれいになり、改めてお父さん方の
パワーを実感しました。

お忙しい中、時間をつくっていただき、
本当にありがとうございます。

九月一日、始業式では、次のような話を
しました。

一学期をもつて、口之津給食センターが
閉館となりました。

何となく、寂しさを感じていたのですが、
その付近に、婦人会のみなさんが、ひまわ
りの種をまいてくださいました。

咲いたひまわりの花が、児童のみなさん
の登下校を見守ってくれています。

大雨災害

大雨のため、避難を余儀なくされたみな
さん、また、被害をこうむられたみなさん
に、改めてお見舞い申し上げます。

まだ、心配が続くかも知れませんが、
家族で協力し、乗り越えてください。
困ったことがあれば、学級担任の先生に、
気軽に相談してください。

コロナ対策

コロナが、またひどくなりました。しか
も、これまでで一番ひどい状況です。

まだ、南島原市では、小・中学校での
クラスターは発生していません。

しかし、いつ、どこで発生しても、おか
しくない状況にあるということを、私たち
一人一人が、自覚して行動しなければなり
ません。

そのため、これまで同様、健康観察・
マスク着用・手洗い・換気・消毒・身体的
距離の確保、この六点について、再度、
徹底していきます。

五年生の自然の家や六年生の修学旅行に
ついては、今後、児童や保護者のみなさん
の意見を聞きながら、最終決定してい
つもりです。

それでは、この二学期、特にがんばって
ほしいことについてお話しします。

体のめあて

生活リズム・何でも食べる・外遊び。
このうち、一学期の学校評価で、特に
よかったのは、「外遊び」です。

宿題のやり直しや委員会活動等もあるで
しょうが、昼休み、十五分はお外に出て、
外遊びを楽しみましょう。

頭のめあて

聞き方・読み方・書き方。
このうち、一学期の学校評価で、特に
よかったのは、「聞き方」です。

これは、今のみなさんの聞く態度を見れ
ば、すぐわかります。

二学期は、多くの学級で研究授業があり
ます。みなさんの成長した学習態度を楽し
みにしています。

心のめあて

進んであいさつ・そうじ大好き・安全な
登下校。
このうち、一学期の学校評価で、特に
よかったのは、「安全な登下校」です。

八月二十日、登校日。避難所からでも、
協力して集団登校する人たちの姿を見て、
校長先生は、涙が出ました。

上の学年の人と下の学年の人が、協力
してみんなの安全を守る。口之津小学校の
子どもは、ずっとそうして助け合ってきた
のです。(以下省略)

コロナ対策

九月一日付け通知でお知らせしましたとおり、現在、県下全域でコロナ感染段階が、ステージ5に引き上げられています。そのため、九月の授業参観・学級部会は、五・六年生の学級部会を除き、中止にすることになりました。

夏休みの作品展や授業参観を楽しみにされていたことと存じますが、御理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、二学期の学校行事等について、現時点での状況を記載しますので、今後の参考にされてください。

集団宿泊活動（五年生）

- ・十月十九日・二十日、実施予定
- ・目的 地 千々石自然の家
- ・九月十日の学級部会で、予定どおり実施してよいか協議する。

修学旅行（六年生）

- ・十一月十一日・十二日、実施予定
- ・目的 地 長崎市・佐世保市方面
- ・宿泊先 矢太楼（長崎市）
- ・九月九日の学級部会で、旅程をどうするか協議する。

※ステージ3に下がらないと、原則、長崎市や佐世保市には旅行できない。

学習発表会

・全校一斉による発表会は実施しない。
・各学級で計画し、コロナ対策を講じて実施する。

持久走記録会

・十二月三日、低学年二校時、中学年三校時、高学年四校時に分散して実施する。

行事予定

- 九月 九日 学級部会（六年一組）
PTA本部役員会
- 十日 学級部会（五年一組）
- 二九日 授業研究会（たけのこ）
授業研究会（四年一組）
- 十月 五日 避難訓練
- 十三日 授業研究会（ひまわり）
- 二十日 授業研究会（六年一組）
- 二七日 就学時健康診断
- 十一月十七日 授業研究会（すまいる）
- 十九日 はげみ学習公開（一年一組）
- 二十四日 授業研究会（二年一組）
- 十二月 一日 PTA本部役員会
- 三日 持久走記録会

※三年一組・たんぼぼ学級の授業研究会、五年一組のはげみ学習公開は、一学期に終了しています。

口之津給食センターから

退任あいさつ

―感謝状贈呈式から―
センター主任 太田 絹子

みなさん、今まで給食を毎日残さず食べてくれて、本当にありがとう。

みなさんの心のこもったメッセージを読ませてもらいました。感動と同時に、いよいよ、最後の時が来たんだと思ひ、涙が出ました。

私は、平成二十四年四月に、口之津給食センターに来ました。

きれいな校舎と元気な子どもたちに囲まれて、こんなすばらしいところで働けて幸せだと思ひました。

それとともに、給食を事故なく出せるか、不安もいっぱいでした。毎日が心配で、電話が鳴らないと、ほっとしたものです。

毎朝、全職員で円陣を組み、

「今日も安全で安心、おいしい給食をつくるぞ！」

と大きな声で気合いを入れて、仕事に入っていました。

私も口之津給食センターと一緒に仕事を終わります。（一部抜粋）